

コンクリート面及びALCパネル面

7章7節:アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ビルデック(標準仕様)

公共仕様No.
DNT-改修・7-3-01

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料	ビルデック	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

塗装仕様

表7.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しぜい弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷付けないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	-			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
5 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			乾燥後、表面を平らに研磨する。

- (注) 1.ALCパネル面の場合は、工程4の前に合成樹脂エマルションシーラーを全面に塗付ける。
 2.合成樹脂エマルションパテは、外部に用いない。
 3.工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2の使い分けは、4.6.4[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整](1)及び(3)による。
 4.新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程IIに代えて素地を十分乾燥させて、工程3を省略する。

表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
2 研磨紙ざり	研磨紙P220~240						清掃後
3 中塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
4 上塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	-
				20~30	スプレー		

- (注) 1.下地調整の種類は、塗料その他の欄による。
 2.モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。
 3.コンクリート面の下地調整は、表7.2.5によるRB種とする。
 4.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。

7.2.6 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整
 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整は表7.2.5により、種別は特記による。
 特記がなければ、RB種とする。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。